

今後の伊達市公立高等学校のあり方に関する意見書

平成30年11月30日

伊達市公立高等学校あり方検討委員会

今後の伊達市公立高等学校のあり方に関する意見書

平成30年6月5日、北海道教育委員会は「公立高等学校配置計画案（平成31年度～33年度）」を発表しました。その案において、平成33年度に伊達緑丘高等学校を3間口とすることとともに、平成34～37年度までの見通しでは、伊達市内において、欠員状況や望ましい学校規模を下回る学校があることを考慮し、再編を含めた早急な定員調整の検討が必要であると示しました。

このことを踏まえ、6月21日開催の「伊達市総合教育会議」において、すでに伊達高等学校が3間口となっていることから、今後の伊達市内の高等学校の将来像について市が主体的に方向性を示すべきではないかとの協議がなされ、地域住民・学校関係者等で組織する「伊達市公立高等学校あり方検討委員会」を設置することとなりました。

7月26日の第1回会議以来、私たちは、伊達市内の高等学校教育の現状と課題、今後の胆振西学区内の中学校生徒数の推移の検討はもとより、市内中学校生徒及び市外へ通学している高等学校生徒との意見交換会での意見等を踏まえ、これまで議論を重ねてまいりました。

この結果、生徒一人ひとりの多様な自己実現を図るとともに、将来の地域社会を担う人材の育成に向け、より豊かで充実した教育環境を確保することが重要であり、そのためには学校の規模を拡大することで、教育内容のスケールメリットが発揮され、一層魅力的な教育活動の展開が期待できることから、平成33年度に伊達高等学校と伊達緑丘高等学校を再編し、新しい高等学校を設置することが必要であるとの結論に至り、伊達市教育委員会に対し、次のとおり意見することを全会一致で決定したところであります。

要 旨

再編後の新しい高等学校については、胆振西部地域の中心校として、地域住民や子どもたちの期待に応えられる教育環境を整備するとともに、特色ある教育活動を展開することを、次のとおり意見します。

- 1 学科、間口については、難関大学から地元就職までの多様な進路希望を実現するため、全日制普通科単位制、1学年6学級とすること。
学校名称については、再編により新設校となることから、市民の意見等を考慮したうえで決定すること。
- 2 使用校舎は、1学年6学級の対応が可能な現伊達高等学校校舎とするとともに、具体的には次のことを重点として改修・整備すること。
 - ・ ICT教育の推進のため、校内無線 LAN の設置
 - ・ 多様な進路希望を実現するための授業展開や学習活動を可能とする大小講義室の設置
 - ・ ボイラー、各種配管、内外壁の塗装、廊下の歪み、天井の漏水、窓枠サッシ等の老朽化・経年劣化箇所の改修
 - ・ 市の食育センターとの連携を見据え学校給食が提供可能となる設備の設置
 - ・ 人と車の動線が重なる現駐車場は生徒の安全確保が困難であることから、職員や来客数（保護者を含む）の増加に対応する十分な広さの駐車場の確保
 - ・ 保健室やコンピュータ教室へのエアコンの設置
 - ・ 災害時の避難場所として利用することを想定した非常用電源の整備
- 3 生徒たちの多様な進路希望を実現するため、難関国立大学や私立大学進学への対応可能な特別進学コース（1～2学級程度）と大学、短大、専門学校、看護学校、就職等への対応可能な普通コース（4～5学級程度）を編成すること。

4 特色ある教育活動として「グローバル人材の育成」並びに「多様な進路希望の実現」を可能とするため、次の事項を実施すること。

＜グローバル人材の育成として＞

- ・地域総がかりの教育活動を推進するため、コミュニティ・スクールの導入
- ・郷土愛を育み、地域の将来を担う人材の育成を目指した「だて学」の導入
- ・地域ボランティア活動の充実
- ・海外見学旅行、海外研修旅行の実施
- ・英語コミュニケーション能力の向上に向けた学習活動の実施
- ・海外の高校との姉妹校締結等による国際交流活動・海外留学の推進

＜多様な進路希望の実現として＞

- ・大手予備校との連携によるオンデマンド講習等の実施による大学進学指導等の強化
- ・大学、専門学校、企業、関係機関等との連携による、専門性の高い授業やインターンシップ等をとおした望ましい職業観の醸成、課題解決に向けた資質・能力の向上等
- ・生徒の興味関心に応じた部活動の設置
- ・市の食育センターとの連携による食育の充実

5 JR伊達紋別駅から学校までの距離が遠いことから、生徒が通学する負担を軽減するため、公共交通機関を確保すること。

6 市と関係機関が市内の高等学校教育の充実に向けた連携・支援の強化に努めること。

以上を伊達市教育委員会へ意見するものであります。

平成30年11月30日

伊達市公立高等学校あり方検討委員会

委員長 万代 淳